



令和6年度 流山市立八木南小学校 学校経営方針

学校教育目標

共に生きる社会を創る児童の育成

八木南小合言葉

えがおとつながりを大切にする学校

えがお

- 主体的に学び、運動し、自己肯定感が高まれば「えがお」になる

つながり

- 仲間、教師と、地域の方と豊かに「えがお」で関わり合えれば「つながり」が生まれる

えがお

- 「つながり」が生まれれば「えがお」が増え、対話的な学びが進む

つながり

- 対話的な学びが進めば、「つながり」が深まる。さらに主体的な学びへ

経営にかかわる人々の総力を結集した、チームワーク・フットワーク・ネットワーク



目指す児童の姿

自ら考える子

◎自ら考え、他を思いやりながら伝え合う力を育てる

- 基礎・基本、学習習慣の定着
- 生き生きと学ぶ授業の実践
- 読書の習慣化、量と質の向上
- 的確な実態把握をもとにした主体的・対話的で深い学びの実践
- 個に応じた学習環境の整備 (UDの視点・ICT機器の積極的活用)

心豊かな子

◎自他ともに大切にできる心を育てる

- あいさつ合い言葉(あったら おじぎ いつも さきに つたえたい気持ちで)の習慣化
- 自分が好き、みんなが好き、故郷が好きという心の醸成
- 相手の気持ちを考え、仲間を大切にする集団作り
- 情操を養う体験活動の推進
- 特別の教科道徳の充実

たくましい子

◎進んで運動し、心身ともに健康に生活する実践力を育てる

- 基本的な生活習慣の確立
- 進んで運動に親しむ機会の設定 (持久走・なわとび・遊・友スポーツ等の活用)
- 安全教育の充実 「自助の力」の育成
- 保健教育の充実
- 食育の推進

目指す学校の姿

- いじめを許さず、誰にでも居場所のある、安心・安全な学校 (児童にとって)
- 信頼して子供を任せられる学校 (保護者にとって)
- 児童を誇りにできる学校 (教職員にとって)

目指す教師の姿

- 笑顔を大切にし、豊かな表情で児童と関わる教職員
- 児童の良さや個性を見出し、生かす教職員 (児童の心を育てる)
- 同僚性を大切にし、協働意識のある教職員
- 児童・家庭・地域からの信頼を得、児童の成長のために連携する教職員 (誠意とスピード)
- 高い倫理観とコンプライアンス意識を持ち続ける教職員